



わたしたちのふるさと

地域づくりのためのアプローチ



富水・桜井地区

面積	人口	大字名	連合自治会
9.77km ²	35,553人	蓮正寺、中曽根、飯田岡、堀之内、柳新田、小台、新屋、府川、北ノ窪、清水新田、穴部、穴部新田、曾比、栢山	富水、東富水、桜井

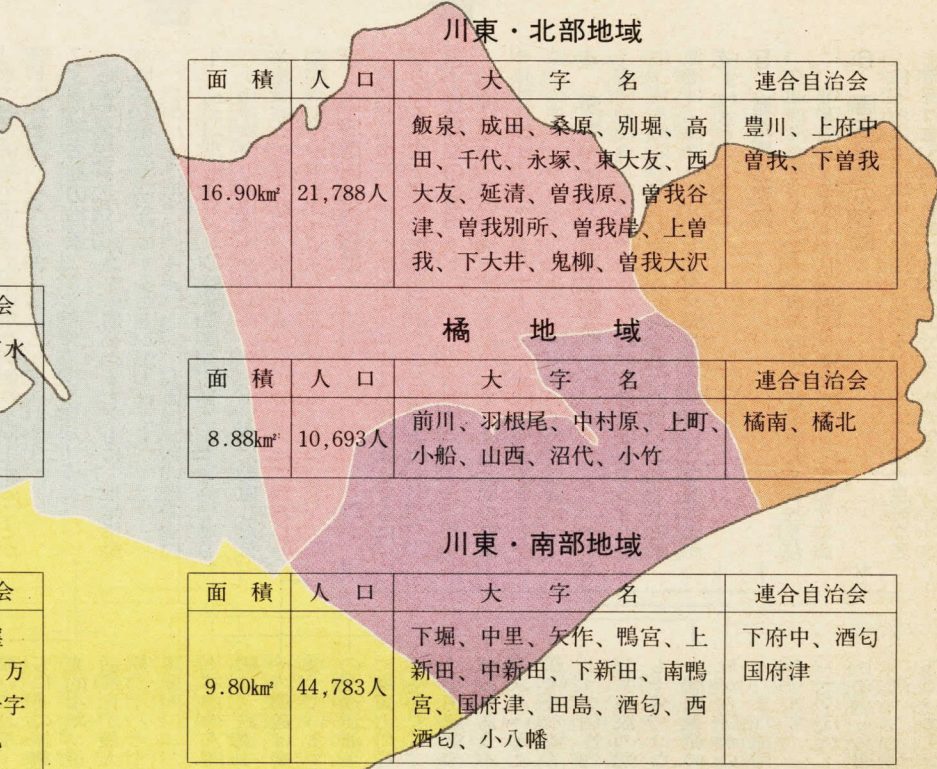
中央地域

面積	人口	大字名	連合自治会
51.50km ²	70,695人	早川、板橋、南板橋、風祭、入生田、水之尾、栄町、中町、浜町、本町、城内、南町、寿町、東町、城山、扇町、緑、十字、荻窪、谷津、池上、井細田、多古、久野	早川、大窪、緑、新玉、万年、幸、十字、山王網一色、足柄、芦子、二川、久野

片浦地域

面積	人口	大字名	連合自治会
17.39km ²	2,429人	石橋、米神、根府川、江之浦	片浦

※統計数値は、昭和60年国勢調査のものです。



「ふるさと創生」が時の言葉となつていける昨今ですが、この「ふるさと」とは、日々の生活の中でゆとりと生きがい、生活の充実感が感じられる社会であると思ふべきです。こつした社会をつくっていくためには、まず人々の生活の基盤である地域社会におけるまちづくり、地域活動こそがその原動力となることを考えます。

「自分たちのまちを自分たちで……」と、本市では、市民のみならず行政との協働のまちづくりを推進する一つの取組として、昨年度「地域プラン」の策定を進めてきましたが、このたび「わたしたちのふるさと——地域づくりのためのアプローチ」としてとりまとめができました。そこで、今回はこのプランのポイントであります「地域の方向性」を中心に、そのとりまとめの経過などをお知らせいたします。

協働のまちづくり推進

プランの目的

小田原市は「おだわら21世紀プラン」を二十一世紀へ向けてのまちづくりの指標として掲げています。まちづくりは、市民のみならず行政とがそれぞれの役割を認識し、お互いの信頼関係を共に築き上げていくことにより進められていくものです。また、そのための計画は、全市民のみなさんが住むそれぞれ

将来イメージの共有化

プランの構成

この地域に根差した地域づくりの方向性と整合したものでなければなりません。そこで、平成三年度から取り組む予定であります「おだわら21世紀プラン」の後期基本計画の策定作業に先立って、市民のみならず日常生活を営んでいる地域を六つに区分し、それぞれの地域の特性を生かしたうおいと活力のある地域社会の形成を目指す上での指標を、ここにとりまとめてみました。

地域の区分

- 1 地理的・地形的条件
- 2 歴史的背景
- 3 大字・自治会
- 4 土地利用構想
- 5 今後の発展の同一性の五つを基準として、市域を上図のとおり、六地域として区分しました。

地域で論議を

このプランは「地域づくりのためのアプローチ」と副題しましたように、市民のみならず自分たちの地域づくり、地域活動を進めていく上で共通のテーマとして考えていただきたいと思ふます。

- 1 歴史の歩み
- 2 地形的状況
- 3 人口
- 4 土地利用
- 5 産業
- 6 公共施設状況
- 7 コミュニティ意識
- 8 地域の課題
- 9 地域の方向性

- 1 将来イメージ
- 2 望まれる対策

そのほか、地域活動において話題となりそうな次のような情報を「地域アラカルト」として掲載しています。

- ◆片浦地域……「声の神様」「日本のリウイエラ」「秀舌の天正庵跡」
- ◆中央地域……「稲葉一族と春日局の墓所」「早川のピランジュ」「明治の三大買物」
- ◆富水・桜井地域……「二宮尊徳の墓所」「報徳堀」「小田原の水道」
- ◆川東・南部地域……「馬車鉄道の歌」「森戸川と前川」

希望の方に

プラン特集号

3回分セットでこのプランは、別途、冊子として製本し各自治会等にはお配りする予定ですが、みなさんのお宅にはこの特集号でお知らせするものです。本号では、このプランのポイントをわかりやすくまとめてあります。また、このプラン関連の広題「地域の方向性」を中心に掲載しましたが、プランにはそのほか、各地域の歴史の歩み、地形的状況を記述し

た「地域の姿」や、人口、土地利用、産業等、統計の数値から観察される「地域の特性」が盛り込まれています。今回掲載を割愛しました。また、このプラン関連の広題「地域の方向性」を中心に掲載しましたが、プランにはそのほか、各地域の歴史の歩み、地形的状況を記述し

☎1253

地域区分

将来イメージ

の望まれている対策

地域の課題

地域の意見

プランづくりに参加して

片浦地域



豊かな自然環境を保全しながらリゾート的活用を図るため、地域を開発整備するとともに、良好な地域の人間関係を保ち続けることにより、うるおいとやすらぎを求め、人々が、訪れ、居住する地域の形成を目指します。

- 1 農業の振興
2 丘陵地の活用
3 海の利用の拡充
4 歴史文化の高揚
5 道路網の整備
6 生活の利便性の向上
7 地域活動の推進

山と海という豊かな自然と多くの歴史遺産を有している個性的な地域ですが、地形的に山間部は急傾斜地が多く、海岸は磯浜で、また法的な土地利用上の規制もあって一般的には開発が難しい地域といえます。

- 山林、農地、海を利用してスポーツ・レクリエーション地域として開発したい。
●土地利用規制の緩和、又は弾力的な運用が必要である。
●リゾート地としての好適性によって、人々が移り住むための生活環境の整備が必要である。
●国道一三五号以外の道路の新設を希望する。
●山側の道路整備を重点的に進めて欲しい。
●みかん産業の不振が続き、人口は減少してきている。
●農地の集団化施策を適地適作によって進めるとともに、農業後継者を残していきたい。
●放棄されているみかん園の課税に配慮願いたい。
●行政と地域が一体となり「みかんの里づくり」の構想を実現していきたい。



片浦地域 川島紀子さん

片浦生まれで片浦育ち、その上、専業農家の主婦である私にとって、「地域プラン」に携わった一年間は、改めて小田原市全体を知る大変良い機会でありました。

中央地域



豊かな自然環境に囲まれ、伝統と新しい文化が調和した城下町の雰囲気が漂うとともに、本市の中心地域として都市機能が充実した魅力ある都市空間の創出を目指します。

- 1 シンボルゾーンの整備
2 中心市街地の整備
3 丘陵地の活用
4 海岸の保全と漁港の整備
5 道路網の整備
6 居住環境の整備
7 工業地周辺環境の向上
8 河川アメニティの向上
9 地域活動の推進

本市の玄関口である小田原駅は、鉄道やバスが集中し、その周辺は高度な商業地区となつていますが、近年、道路の交通渋滞等もあつて全体的に購買力の伸びは低迷してきています。

- 小田原駅舎を小田原らしく建て替えて欲しい。
●小田原駅の東西自由通路を早期に実現して欲しい。
●駐車場の整備が必要である。
●混雑解消のため、道路網の整備を進めて欲しい。
●市街地道路には、施設埋設の共同地下溝を設置すべきだ。
●市街地内の道路の一方通行と規制を再検討して欲しい。
●小田原駅前には、景観を重視した歴史と文化の雰囲気を感じられる整備を進めるべきだ。
●小田原城跡は積極的に整備を進め、香り高い城跡としたい。
●三の丸付近の公共施設移転は、官民一体を進めるべきだ。
●図書館は身近に利用しやすい施設として建て替えて欲しい。
●郷土文化館は人文系博物館として建て替えて欲しい。
●西部丘陵一帯の自然を大いに活用すべきだ。
●「いこいの森」は独自の整備をして欲しい。
●石垣山一夜城跡周辺は、スポーツレジャーセンターとして開発して欲しい。
●研究機関などの誘致を大いにすべきだ。
●海の利用と海岸の浸食防止を進める必要がある。
●フェリーの発着場を造るなど、海の利用を考えて欲しい。
●御幸の浜を子供の健康づくりの場としたい。
●荒久海岸を海浜公園化して欲しい。
●海については、県の計画との整合を図るべきだ。
●住民の同意を得ながら、景観を重視した市街地整備を進めるべきだ。
●市街地周辺は、農地の転換によって環境が損なわれている。箱根からの汚水で汚れている早川をきれいにしたい。



中央地域 前川和子さん

地域を考える懇話会が発足して約九か月になります。この会は、小田原市を歴史と伝統に裏打ちされた香り高い都市として見直し再生するため、市民と行政職員との懇話会として都市化が著しく、その会で、私たちの仕事は、地域が抱える問題点を引き出すことにあります。

この九か月の間、私たちは自分のふるさとをじっくり直視する機会が与えられ、かなりの具体案を考へることができるようになりました。さて、私たちの中央地域での問題点はどこにあるのか、関心の深い小田原...

地域区分

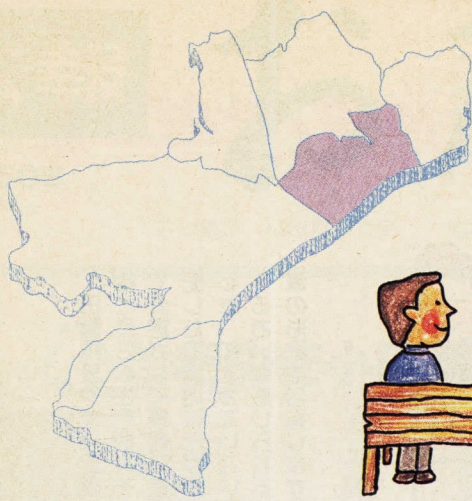
将来イメージ

望まれる方向性

地域の課題

地域の意見

プランづくりに参加して



川東・南部地域



川東地域における中心地として、都市機能が整備され、良好な環境の住宅地や活力ある商業地、景観に配慮した工業地が共存する、生き生きとした地域の形成を目指します。



富水・桜井地域



尊徳生誕の地として清らかな川や緑豊かな田園風景を守り育てながら、都市機能が整備された活力とゆとりが感じられる地域の形成を目指します。

- 1 公共施設の整備

川東地域の中心としての公共施設の整備を図るとともに、地域活動の拠点となる施設を整備することが望まれます。
- 2 良好な住宅地の形成

下水道事業の推進をはじめ居住環境の向上に努めるとともに、良好な住宅地を形成するために、計画的な面的整備を図ることが望まれます。
- 3 商業空間の創出

再開発等の手法により良好な商業空間を創出するとともに、駅周辺の自転車対策を推進することが望まれます。
- 4 工業地周辺環境の向上

大規模工場等の緑化をはじめ、工業地における景観や周辺環境の向上を促進することが望まれます。
- 5 公園の整備

鉄道用地の有効利用などによる公園の整備が望まれます。
- 6 道路網の整備

幹線道路及びこれらと連携した生活道路網を、周辺環境に配慮しながら整備することが望まれます。
- 7 河川アメニティの向上

酒匂川、森戸川などの河川の浄化を進めるとともに、親水機能の向上を図ることが望まれます。
- 8 海岸の保全

海岸は浸食及び災害の防止のための整備を促進するとともに、親水機能の向上を図ることが望まれます。
- 9 地域活動の推進

地域コミュニティの強化と地域活動の活性化を図るとともに、地域に根付いた新しい文化の創造が望まれます。

国府津はかつての鉄道の要衝であり、鴨宮は我が国の新幹線発祥の地であり、この地域は、鉄道交通の歴史を物語る地域であるとともに、川東地域における中心的役割を果たすべき位置にあります。市内の中でも比較的大規模な工場が集積しているとともに、新しい商業地としての表情も見せ始めており、そのことが道路交通の面で渋滞を招く一因ともなっています。

住宅地については、国道一号沿いの古い街並み、鴨宮駅周辺の新しい住宅地、さらには飯泉地区には将来住宅地によくする区域があるなど、市街地内の河川の浄化をはじめ計画的な生活環境の整備が必要とされています。

海岸線は砂浜の浸食が見られ、景観や防災の面から対策が求められています。また、人口の流動が著しい地域であるため住民の近隣関係の親密度が相対的に低いことも課題の一つといえます。

- 国府津の機関庫跡地を鉄道公園として整備して欲しい。
- 小八幡の国鉄官舎跡地を公園として整備して欲しい。
- 大同毛織の用地に公共施設の配置を要望する。
- 鴨宮駅北口の再開発を促進すべきだ。
- 鴨宮及び国府津の駅周辺に自転車駐輪場を設置してもらいたい。
- 通勤時の交通混雑解消のため、道路網の整備をして欲しい。
- 栄町小八幡線の早期完成を要望する。
- 下水道整備などを進め、住み良いまちづくりをして欲しい。
- 道路整備を待つのではなく、道路事情に見合った環境づくりを考へるべきだ。
- 新しい住宅地の景観の統一性が望まれる。
- 海岸浸食が進み、危険である。
- 海の活用を考へる必要がある。
- 地域ごとに委員会などをつくり定期的に会合を開催したい。
- トイレ美化などへ市民の自主的な動きも必要である。
- (その他)
- 川東地域にイベント会場を設けて欲しい。

- 1 良好な住宅地の形成

下水道事業の推進をはじめ居住環境の向上に努めるとともに、良好な住宅地を形成するために、計画的な面的整備を図ることが望まれます。
- 2 農業と住環境との調和

農業生産環境と住環境両面の向上と調和を図るため、優良農地を保全していくことが望まれます。
- 3 公園等の整備

身近な遊び場や公園の整備とともに、健康増進のための施設整備が望まれます。
- 4 尊徳遺業の継承

二宮尊徳の遺業の継承と顕彰を図るとともに、遺跡を整備することによって、「尊徳の里」としての意識の高揚を図ることが望まれます。
- 5 道路網の整備

幹線道路及びこれらと連携する生活道路網を、周辺環境に配慮しながら整備することが望まれます。また、駅周辺の交通混雑の解消が望まれます。
- 6 河川アメニティの向上

酒匂川、狩川、仙了川をはじめ中小河川の浄化を進めるとともに、親水機能の向上を図ることが望まれます。
- 7 地域活動の推進

地域コミュニティの強化と地域活動の活性化を図るとともに、活動の拠点となる施設を整備することが望まれます。

かつては自噴の井戸が各所で見られ、水路が網目のように走る地域でしたが、交通の利便性が高いことから、昭和三十年代から四十年代にかけて水田地帯が急速に宅地化しました。

そのため、農道がそのまま生活道路に利用されたり、下水道が未整備のため中小河川が汚濁したり、公園等の広場がないなど、都市基整備の遅れが目立っています。その一方、市街化調整区域を中心として農地も多く、田園風景が残っています。

桜井地区には尊徳生誕二百年記念に尊徳記念館が完成しましたが、尊徳生誕の地としての住民の意識はまだ十分浸透しているとはいえません。また、住民の近隣関係も形式化の傾向が強く、地域活動の盛り上がりが見込まれます。

- 小田原城跡整備の構想を早く実現し、市民の憩いの場を創出したい。
- 公共建造物は小田原にふさわしい外観統一を図るべきだ。
- 急激な宅地化に伴い、排水路と道路の整備が最優先課題である。
- ワンルーム・マンションの建設を規制して欲しい。
- 尊徳記念館と報徳小学校とを連携する道路が必要である。
- 穴部用水の汚濁がひどい。
- 酒匂川堤を利用した小公園が欲しい。
- 水田の存在は、地域景観に欠かせないので存続させたい。
- 先人の苦勞の成果としての農地を保全していきたい。
- 地域住民の集会所が不足している。
- (その他)
- 市有地等の地元行事における解放を要望する。
- 土地の官民境界を明確にし、できる限り市有地化を図るべきだ。
- 市役所内部の連絡体制や、職員の職務態度の改善を望む。
- 地域での集会は、もっと狭い範囲で開催して欲しい。

緩やかな変化を

川東・南部地域
笠原雅江さん

あの山もこの川もみんな昔と変わらないうちに迎えてくれるなつかしさ。他所で暮らしていた私が毎年訪れていた小田原は、この歌のように長い間あまり変わっていませんでした。そして、鴨宮地区に移り住んで二十余年、車窓から眺めたのどかな田園風景が住宅の屋根の波に変わっていきのを見続けてきました。人が多く住み、生活が便利になることが発展というならば鴨宮地区は小田原で一番発展している所です。しかし、学校の鉄筋化は進み、たんぱ

地域で考へる懇話会では、それぞれの地域が抱える問題をよく知ることができました。また、地域探訪会では、恵まれた自然風土の中で生活していることを再認識しました。小田原はこれからも変貌し続けていくと思いますが、緩やかに変化していく方が人々の気性に合っているように感じています。

「歴史と文化の香る都市」づくりに夢とロマンを感じるか、ただ騒々しいと感じるか。それは、私たち住民が「おだわら21世紀プラン」の実現に向けて積極的に参加していくかどうかにかかっていると思います。

地域特性を大切に

富水・桜井地域
吉川静男さん

「地域プラン」は、地域が持つ特性を地域の人々が共通認識し、これらを生かしながら「ゆとり」ある生活環境づくりを進めていこうとするものと考えます。

富水・桜井地域は、二宮尊徳翁の遺跡をはじめ、酒匂川、狩川など、豊かな歴史と自然田園風景があります。

こうした特性を損なうことなく、生かすことを念頭に、「地域プラン」策定の際に加し、「地域プラン」策定のお手伝いをしました。

この懇話会を通じて、まちづくりについて考えさせられました。一番望まれることが、「ゆとり」あるまちにすることだと感じました。

このように、各地域が特性を生かしながら地域の課題に取り組んでいくことにより、進歩によって、社会環境は極めて高密度になってきています。このような時代こそ、ふだん生活する地域には「ゆとり」が不可欠であります。

地域区分

将来イメージ

の望まれ対策

地域の課題

地域の意見

プランづくりに参加して

川東・北部地域



田園風景や曾我丘陵の緑と良好な住宅地、そして公害がなく景観に意を配した工業地帯とが調和した、のどかでいこいとうるおいが感じられる地域の形成を目指します。

1 「梅の里づくり」の推進

曾我丘陵と曾我梅林を中心とした「梅の里づくり」を推進することによって、観光レクリエーション機能の向上と生産基盤の整備を図ることが望まれます。

2 スポーツ・レクリエーションの場の形成

総合公園の建設とともに、「梅の里」と酒匂川の連携を図り、スポーツ・レクリエーションの場の形成を図ることが望まれます。

3 農業と住環境との調和

農業生産環境、住環境両面の向上と調和を図るため、優良農地の保全と生活基盤の整備が望まれます。

4 工業地の整備

地理的立地条件を生かして、周辺環境と景観に配慮した新たな工業地を整備することが望まれます。

5 道路網の整備

幹線道路及びこれらと連携した生活道路網を、周辺環境に配慮しながら整備することが望まれます。

6 河川アメニティの向上

酒匂川をはじめ中小河川の浄化を進めるとともに、親水機能の向上を図ることが望まれます。

7 地域活動の推進

地域のコミュニティ意識を一層高めるとともに、地域活動の拠点となる施設を整備することが望まれます。

曾我丘陵一帯は、産業振興や環境整備による地域の活性化が計画されていますが、平野部も優良な農地が展開し農業意欲も高く、今後とも農業的利用を推進していく必要があります。また、曾我丘陵から酒匂川まで、施設等の連携化によって地域の一体化を図ることが必要です。住居地については、水の安定供給をはじめ河川の浄化など生活環境の整備が必要となります。

酒匂川左岸には、工業団地の造成が計画されるとともにこの工業団地の物流の円滑化と国道二五五号の交通混雑を解消するための酒匂川左岸道路と、市街地へ流入する通過交通をう回させるための外環状道路の計画もあり、その早期実現が待たれています。また、近隣関係は比較的良好ですが、地域活動への参加意識は比較的低い地域となっています。

橘地域



豊かな緑の中に生産環境と住環境が整備され、コミュニティ活動が活発に行われ、のどかな田園風景に新しい町並みが溶け合った明るく温かみのある地域の形成を目指します。

1 農業生産環境の向上

農業生産環境の変化に対応するため、生産基盤の整備向上に努めることが望まれます。

2 生活の利便性の向上

交通の利便性をはじめ、生活環境の利便性を向上することが望まれます。

3 産業空間の創出

自然を活用しながら、地域の就業の場となる新しい産業空間の創出が望まれます。

4 歴史文化の高揚

下中人形座など、地域の文化的遺産の継承に努めるとともに、地域の伝統と新しい文化を守り育てていくことが望まれます。

5 道路網の整備

幹線道路及びこれらと連携した生活道路網を、周辺環境に配慮しながら整備することが望まれます。

6 海岸の保全

海岸は浸食及び災害の防止のための整備を促進することが望まれます。

7 地域活動の推進

地域のコミュニティ意識を一層高めるとともに、地域活動の拠点となる施設を整備することが望まれます。

丘陵地に囲まれ、相湾湾に面しているため、みかん栽培や畜産業が盛んに行われていますが、近年のみかん価格低迷や農産物自由化の動きなど農業環境の著しい変化が予測され、就業の場としての企業等の誘致などを含めて産業対策が必要となってきました。二宮町境の丘陵地が住宅地として開発され、人口は増加傾向にあります。また、それに伴う都市基盤の整備が立ち遅れ、交通面をはじめ生活上の利便性が悪いといえます。海岸線は砂浜の浸食が見られ、津波や高潮に対する防災対策が望まれています。また、下中人形座など古くからの伝統文化を継承するとともに、地域活動への参加意識が高いことから、新しい形でのコミュニティが生まれることが期待されます。

「梅の里づくり」に行政の協力を願いたい。梅の花だけでなく年間を通じての人の流入を考えるべきだ。曾我丘陵の開発を要望する。

農協とタイアップして、営農指導に力を入れて欲しい。

市の施設利用に不便を感じている。

多目的に使える集会所の設置を要望する。

文化施設、病院の設置を要望する。

汚水が農業用水路に流れ込み、汚れている。

将来の人口増に備えて、今から環境の整備をすべきだ。

飯泉の保留地区へは、市の施設の配置が望まれる。

工業団地整備事業は、地元の合意が必要である。

隣接する住宅地域での交通量の増加への対策が欲しい。

国道二五五号が混み、狭い道路に車が入り危険である。

県道松田国府津線の拡幅等を要望する。

曾我山の湧水は中井町と関係するので、県などへも働き掛けてもらいたい。

埋蔵文化財の発掘調査について、弾力的な措置を考えて欲しい。

二十一世紀の夢

川東・北部地域

植松朱実さん



今から二年前、市民と市職員との共同研修が初めて開催された。市民の声を反映させたまちづくりを進めようとする市の取り組みを聞いて、当初は魅力あるまちづくりについて、一般論としての話し合いをしたが、やがては市民の目から見た本市の問題点を話し合うようになった。そして一年、昨年の七月からは、名称も「地域を考える会」と改め、「地域プラン」を話し合ってきた。

この羨しがられる点を、ますます充実することができれば、二十一世紀の小田原はすばらしくなるのでは……。

地域カルテを読む

橘地域

大曾根京子さん



「おだわら21世紀プラン」に基づく地域プランが発表された。これはのんきに見え、すわけにはいかない。内容は、課題から対策へと展開しているが、その基は昨年六月の広報特集号に掲載された「地域カルテ」である。試みに人口・世帯数のグラフを見ると、橘地域は市全体とほぼ平行しているが、注目されるのは年齢別グラフである。二十一世紀の主役となる二十代が異様に少くなっている。これは二つの「団塊の世代」

に挟まれた全国的傾向と、市平均より突出しているのに、二十代後半は市平均よりも落ち込んでいる。この理由を考えてみると、青年の流出と橘団地の家族構成によるものと思われる。このことから大胆に橘地域の将来の姿を探ってみると、人口グラフは、このまま上に移動していく。

青年層には土地の所有権を持つ人が多いため、将来は彼等の意向が中心となる。ベッドタウン化は進展する。そこで、橘地域の課題を考えてみると、高齢化対策、土地利用ビジョンの確立、市街地に見合う住環境（交通、上下水道、公共施設等）の整備といったこととなるのではな